

組合 NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
金沢大学教職員組合執行委員会
金沢市角間町
Tel.076-262-6009 (FAX同じ) / 角間内線2105
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホ-ム-ジ- http://www.ku-union.org/

2024年6月26日

通巻1312号

この号の内容

- 施設部交渉
- 人事労務課との意見交換



施設部交渉、人事労務課との意見交換

1. 施設部交渉

2023年12月～2024年1月にかけて組合で実施した「施設・設備の整備に関するアンケート」でいただいた200件の回答をもとに、5/21に交渉を行いました。今回は、アンケートで要望が多く、また緊急性が高いものについて改善を要求しました。



修繕等について、問い合わせ窓口が分からない場合は、施設管理課保全企画係または部局の総務係へ連絡すれば対応。



施設部のHP上に連絡先をわかりやすく表示すること、施設部のHPから申請できるシステムを検討。

* 組合からも施設部に要望しますので、ご意見があればお知らせください。



予算不足で、設備の修理・更新、施設整備が思うように進まず。

* 改めて担当理事との団体交渉を申し入れる予定です。

具体的な要求と大学側の回答

(1) 駐車場の整備

要求：駐車可能台数を増やすこと。

回答：✗ 駐車場の利用率は角間全体で67.2%。

増設できる場所がない。空いている駐車場を利用してほしい。



妊娠中の職員等については、近くに駐車できるよう配慮を求めました。

要求：消失している白線を引き直すこと。

回答：○ 薄い場所は順次引き直している。



一度に直せる程の予算はないが、今後も計画的に実施する。

要求：夜間の照明を明るくすること。

回答：○ 暗い場所があれば対応する。



要求：1台当りの駐車スペースを拡張すること。

回答：△ スペースを広くすると台数が少なくなる。
交通計画小委員会で検討して決める。

(2) トイレの整備

要求：女性用トイレを増設すること（主に本部棟）

要求：トイレを増設すること（主に本部棟）

回答：× 本部棟のトイレ不足は、建物ができた当初より職員数が増えたことが要因。
スペース的・予算的に新たな設置が難しく、他の階や他の建物の利用を。
○ 和式→洋式の改修は順次実施。



要求：和式トイレを洋式化すること

回答：○ 古い場所から順次対応。学生利用が多い場所を優先的に対応（学生ファースト）。
R5年、クラウドファンディングで、人社と大学会館を洋式化。洋式は56%。
角間北地区は、リニューアル計画で概ね洋式化可能。

(3) 空調の整備

要求：故障している冷暖房設備を修理すること。

回答：○ 修理依頼があれば対応。
△ 修理部品が無くなった古い機器が多数。機器の更新は費用が高額だが、予算の範囲内に対応せざるを得ない。R5年度は補正予算で約5000万円の範囲内で実施した。



要求：契約電力を拡張し、デマンド警報の回数を減らすこと。

回答：○ **今年度、契約電力を上げる予定** で検討中

大学の光熱水費は年間14~15億（大学全体）で、大学の教育研究を圧迫している状況。省エネの視点で教職員のみなさんに協力をお願いしたい。

要求：冬期の空調環境を改善すること（室温が上がらない）。補助機器の導入も検討すべき。

回答：○ 部屋の容量に応じて空調能力（機器）を決めている。研究内容の変更により利用状況が変われば暖房能力も低い場合もあるので、**申出があれば、改善の方法（補助暖房の必要性など）を個別に助言する。**

(4) 雨漏り箇所の修理

要求：アンケートで指摘のあった箇所を提示して修理を求めました。

回答：△ 調査しても、雨漏り箇所の特定が出来ず、対応が難しい。
○ 可能なところは改めて調査して対応する。
○ 附属学校で年度末に要望があった箇所については対応済み。
設置から25年経過し何処も劣化している。



(5) 照明の修理と増設

要求：アンケートで要望のあった、故障個所の修理、暗い場所の照明追加を求めました。

回答：○ 要請があればその都度対応。
具体的な場所を教えてもらえれば対応する。



(6) 修繕等を要望しやすい仕組み

要求：教職員が申請しやすい仕組みをつくること。

回答：○ 部局の総務係または施設部が窓口。
施設部のHP上に連絡先をわかりやすく表示する検討を行う。



故障箇所の連絡だけでなく不都合に感じていることも含め、施設部に気軽に情報提供したり意見を言えるシステムをつくるように求めました。



角間北地区のリニューアル計画の情報共有

要求：リニューアル計画の情報（改修のスケジュールや改修プラン等）が周知されず、学類や研究室の仮引越しなどで不安の声が上がっていたため、早期の情報提供とプランの共有を求めました。

回答：

- ・R6年1月、北地区リニューアル計画が作成され、文科省に1号館について概算要求をした。概算要求が通れば、R7年度から改修が行われる予定。
- ・施設部としては、人社事務部と協力して情報共有を図りながら実施する。



改修後の学類のレイアウト、研究室の仮引越しの計画について意見が出せるよう、早めの周知をお願いしました。

2. 人事労務課との意見交換



(1) 海外出張での保険料の負担軽減

これまでは日額200円の補助がありましたが、実際の保険料に対して大幅に不足していました。業務命令で出張する場合について、個人負担の軽減を求めていました。



今年4月から以下が実現しました

- ・1日1000円を上限に全額を支給
- ・保険加入が業務上必要な場合は上限を設けず全額支給する

(2) 非常勤職員（所定6時間）の休日出勤の振替

6時間勤務の非常勤職員が休日の入試業務（8時間）を担当した場合、振替休暇が1日で、2時間分が不足している部局があるとの情報提供があり、対応を求めています。



- ・【振替休暇1日】 + 【2時間分の時間外労働手当】の支給を確認。
- ・2時間分の時間外労働手当を、3年分遡及して支給したことを確認。

(3) 非常勤職員にボランティア休暇の付与を要望

正規職員にあるボランティア休暇（有給で5日）が非常勤職員にはありません。1月の能登半島地震の復旧ボランティアとして参加を希望する意見があり、要望しました。



前向きに検討することを確認しました。



(4) 事務職員の業務過多の解消

4月以降、一人の業務量が大幅に増えてオーバーワークになっているとの意見がよせられています。組合では以前から事務係職員の増員を求めてきましたが、改めて増員の必要性を訴えました。

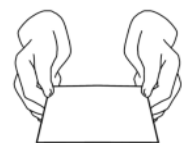


回答：4月に研究支援等を行う部署の新設などにより、各部局の人員の抛出が行われているが、総数として事務職員の数や人件費を抑制しているわけではなく、急な退職等での欠員を補充するため、4月に限らず、民間のキャリアがある人も含めて通年で採用していく。



名刺が公費で印刷できるようになりました

名刺の使用は本務の一環で行われるものであり、教職員個人が私費で購入している現状を改め、公費で購入出来るようにするように求めています。



1. 本学の業務に名刺を用いる場合は、公費による名刺印刷を認める。
2. 名刺の作成ができる者は、非常勤職員を含む本学の教職員。

*詳細は部局の会計担当者等にご確認ください。